環境共生資源学特論Ⅰ（２単位）

担当者氏名　　両角和夫

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

本特論では、農業問題と環境問題の関係と解決の在り方について論じる。農業問題は、資本主義が農業をうまくその経済システムに組み込めないがゆえに、すなわち資本主義的に処理することが出来ないが故に発生した。一方、環境問題は、資本主義経済の発展によって悪化した自然環境を自らのシステムでは解決が困難な問題である。二つの問題は、今日の資本主義経済のもとで相互に関連して、人類の生存を脅かす重大な問題となった。講義では、こうした問題の発生と対処のメカニズム、およびこれらの一体的に解決のあり方を論じる。ここでは、問題発現の局面の検討を通して、環境共生の視点から農業や地域の在り方を考える。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

農業問題　　環境問題　　資本主義経済　　環境共生

社会技術

◆授業の進行等について

	テーマ	内　容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	「課題と方法」(1～2週)	・資本主義における社会問題としての農業問題と環境問題の意味を明らかにする。	◎本講義のねらいは、農業問題と環境問題の関連とその解決のあり方を検討するところにある。◎講義の理解には経済学を理解する必要があり、事前に経済学の勉強等必要な準備をしておいてもらいたい。また、講義後にキーワード等を参考に関連文献を読むこと。
2	「資本主義の発展と農業問題の発生」(3～70週)	世界資本主義の発生・展開と資本主義的農業処理に関する理論的アプローチと問題発生の局面(日本と欧米)を比較検討する。	
3	「環境問題の発生と展開」(8～12 週)	資本主義における環境問題の発生と展開について検討する。	
4	「農業問題と環境問題の一体的解決」(13～15)	農業問題と環境問題の関係を明らかにすると共に、どうすれば両者の一体的解決ができるのか、主に社会技術の観点から検討する。	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

経済原論／宇野弘蔵／岩波新書（最新版）、新資本主義論/馬場宏二/名古屋大学出版会（1997）

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

農業問題の展開と自治村落／斉藤仁／日本経済評論社（1989 年）

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

授業中に課すレポート（60 点）と授業参加態度、すなわちディスカッション（40 点）をもとに評価する。

◆オフィスアワー

毎週水曜日の午前、研究室で質問等と受け付ける

◆その他受講上の注意事項

指定した、教科書、参考書を熟読しておくこと。